

### 救急ワークステーションのイメージ図



## 特集 充実する医療体制

# 救急ワークステーション



令和2年10月から始まった「市派遣型救急ワークステーション」。

救急隊と病院が、更なる救命率の向上と後遺症の軽減を目的として一つのチームとなるこの取り組みについて、実際あった事例を添えて紹介します。

問い合わせ 消防管理課 ☎(81)8020

市派遣型救急ワークステーションとは、消防署から救急車1台と救急救命士を含む救急隊員3名が秦野赤十字病院に週4回派遣され、救急要請が入った場合に必要に応じて救急専門医が同乗する取り組みです。救急要請がない時間は、医師から直接救命処置や医療技術を学ぶなどの研修を行っています。

令和2年10月から令和4年7月まで計346件の出動があり、左の事例のような症状改善や救命につながったケースがあります。

#### ケース①

けいれんが持続している傷病者に対し、救急隊では使用できない薬剤を医師が救急現場で使用し、症状が改善しました。

#### ケース②

傷病者が大量出血していると連絡を受け出動。同乗した医師が、薬剤を使用し、痛みを早期に緩和しました。

#### ケース③

アナフィラキシーショックの傷病者に対し、迅速かつ早期の医療介入による治療により、重症化を防ぎました。

## 救急車を必要とする人のために

市では6台の救急車が稼働していますが、新型感染症の再拡大の影響で、救急車の出動が多くなっており、結果として現場への到着が遅れ、救える命が救えなくなる可能性があります。

緊急性がなく、自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関などを利用してください。ただし、すぐに治療が必要だと思われる場合は迷わずに119番通報をしてください。

### 判断に迷ったら

急な病気やけがで、救急車を呼んでいいか判断に迷った場合は、消防本部 ☎(81)0119 に電話または全国版救急受診アプリ「Q助」を利用してください。

### 救急受診アプリ「Q助」

市ホームページまたはアプリストアからダウンロードできます。画面上で該当する症状などを選択すると、緊急度に応じた対応や利用できる医療機関、受診手段を情報提供します。



### 新型感染症

## いま一度 感染症対策を

新型感染症の再拡大による感染者急増の中、医療や救急現場も逼迫し、厳しい状態となっています。改めて感染症対策の徹底にご協力をお願いいたします。

問い合わせ 市新型コロナウイルスセンター ☎(82)9615

### 抗原検査キットの利用

発熱や咳など、体調に異変を感じたら、抗原検査キットによるセルフチェックをお願いします。

陽性と判明した場合、65歳以上40〜64歳で重症化リスクの高い方、2歳未満、妊娠している方は医療機関を受診してください。



薬事承認を受けた抗原検査キット

### 自主療養届出制度

重症化リスクの高い方に医療を重点的に提供するため、重症化リスクの低い方が抗原検査キットで陽性と判明した場合は、医療機関の診断を待たずに自ら療養を始めることができます。LINE通知やAコールが、日々の健康状態の観察の確認をアシストします。

制度の詳細や申し込みは県ホームページへ



### 感染に備えて

感染してしまった場合に備えて、日頃から食料品などの準備をお願いします。

▼陽性、濃厚接触による待機期間中の食料品および日用品 ▼自主療養届出制度を利用するための抗原検査キット ▼解熱剤や咳止めなどの薬

### 新型コロナウイルス接種

接種率 ▼3回目 75・05% ▼4回目 69・99% ※8月21日時点。

オミクロン株対応ワクチンの接種については、詳細な情報が分かり次第お知らせします

### 問い合わせ

市新型コロナウイルスセンター ☎(82)9615

### 市からの最新情報は

#### 市ホームページ

感染症特設ページ (感染症への対応全般)



ワクチン情報ページ (接種に関する案内)



#### 市公式LINE

下の二次元コードから「友だち」に追加。



#### 緊急情報メール

下の二次元コードから空メールを送信。



市ホームページで最新の感染者数や感染状況を公表しています



市内の日別陽性者数 6月1日~8月21日公表分

